

1 主題名 みんな違ってみんないい A-(4)個性の伸長

2 ねらいと教材

(1) ねらい 自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする心情を育てる。

(2) 教材名 「うめのき村の四兄弟」(東京書籍 「新しい道徳 小学校4年」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

小学校3年生及び4年生の指導の観点は、「自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと」である。この内容項目である「個性の伸長」は、低学年「自分の特徴に気付くこと」によって育まれている。さらに高学年では、「自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと」中学校では「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること」に発展していく。

自分の特徴である長所の部分に焦点を当て、さらにそれを伸ばしていき、自分の個性に気付くようにすることが求められる。そのためには、児童が視野を広げ、他の人々の多様な個性に触れ、憧れや希望を抱ける多様な場面や機会を生かしていけるようにしたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態と教師の願い

(調査日 令和4年9月5日 調査人数27人)

本学級の児童は、明るく、自分の考えを意欲的に話す児童が多い。話し合い活動も活発にできる反面、自分の意見を最後まで通そうとしたり、逆に友達の意見に流されてしまったりする児童も見られる。ねらいとする価値に関する学級の実態は次のとおりである。

1	得意なことや好きなことがありますか。					
	ある	27人	ない	0人	わからない	0人
2	自分にはよいところがありますか。					
	ある	14人	ない	1人	わからない	12人
3	自慢できるようなことがありますか。					
	ある	15人	ない	5人	わからない	7人
4	自分のことが好きですか。					
	ある	19人	ない	2人	わからない	6人
5	自分についてよくなりたと思うところがありますか。					
	ある	25人	ない	1人	わからない	1人

アンケートの結果から、自分自身ではよくなりたと思っているところはあるが、自分のよいところとなると見付けられない児童が多いことが分かった。全員得意なことや好きなことがあるが、自分のよいところに気付いたり、そのことを自慢したりするところまで至っていない実態が見えた。

(3) 教材について

本教材は、うめのき村の4兄弟が、それぞれの長所や能力を発揮して協力することによって、嵐から村を守ることができ、一人一人の活躍ぶりについて、父親から大いに褒めてもらえたという話である。自分の長所や短所を知るだけでなく、互いのよさを認め合うことによって、自分の長所を更に伸ばしていこうとする気持ちが育つようにしたい。また、その長所を価値づけ、認めることで、喜びを味わえるようにするとともに、児童一人一人の自己肯定感や自尊感情を高めたい。

(4) 指導観

導入では、『人の長所(よさ)』についてどんなことがありますか』という問いを投げかけ、児童が長所に対するイメージを膨らませることで、ねらいとする価値への方向付けを行う。

展開前半では、4兄弟の特徴やよいところを、場面絵を利用して簡単に説明しながら整理する。そして嵐が来た時、4人がそれぞれ自分の特徴やよさを生かしてどんなことを考えながら行動したのか考えさせることで、自分の得意なことが役立ち、それぞれが協力したから村を守れたことに気付かせたい。また、そのことを父親に褒めてもらえたことで、満足感や充実感に繋がっていることに気付かせるようにしたい。

展開後半では、自分の特徴やよさについて見つめさせる。その際、事前にアンケートをとっておき、自分を見つめる補助とする。自分の特徴の中で、短所に思えることも見方を変えれば長所になることにも気付かせたい。さらに、友達同士で互いのよさをタブレットのノートに書いて見せ合うことで、自分が気付かなかったよさを自覚させ、感想を交流し合うことで、互いに認め合う心地よさを感じさせたい。

4 本時の指導

(1) 準備・資料

教科書、ワークシート、場面絵、タブレットPC、電子黒板

(2) 展開 ☆主体的に取り組むための ICT 機器を活用した手立て ○主な発問 ◎中心発問

	主な活動と発問	予想される児童の反応	指導の手立て、評価（評価方法）
導入 5分	1 「人の長所（よさ）」について考え、長所に対するイメージを膨らませる。 ○「人の長所（よさ）」はどんなことがありますか。	・おもしろい・優しい ・運動が好き・真面目 ・本が好き・よく働く	・人の長所についてイメージを膨らませることで、ねらいとする道徳的価値への方向づけをする。
展開 前半 17分	2 教材「うめのき村の四兄弟」を読んで考える。 ○4人の特徴や長所（よいところ）はどんなところでしょう。 ◎嵐が来たとき、4人はそれぞれどんなことを考えながら行動したのでしょうか。 ○褒められた4人は、どんな気持ちになったでしょう。	【いちろうた】 ・体が大きく力持ち。 【じろうた】 ・きちんと仕上げることができる。 【さぶろうた】 ・動物と仲良くできる。 【しろうた】 ・自然のことをよく知っている。 【いちろうた】 ・水があふれたら、村が水浸しになってしまう。力をいっぱい出して、土のうをどんどん積もう。 【じろうた】 ・家が壊されたら大変だ。風に飛ばされないようにしっかり板を打ちつけよう。得意な仕事だ。 【さぶろうた】 ・牛やニワトリも嵐が怖いのだろう。大丈夫だよ。僕に任せて。 【しろうた】 ・早く嵐が過ぎてほしい。強い力はないが、自然のことがよく分かる。 ・自分の得意なことが役に立ってよかった。 ・4人が協力して村を守り、褒められてうれしい。 ・自分の得意なことをこれからも伸ばそう。	・場面絵や電子黒板を利用して、登場人物の特徴を簡単に説明する。 ・導入で活用した場面絵を用いて板書していく。 ・いちろうた、じろうた、さぶろうた、しろうたそれぞれがどんな思いで行動していたのかを考えるようにする。 ・自分の特徴を自覚したり、長所を発揮したりするときの考えを話し合うようにする。 ・自分の得意なことを生かして4人で協力して村を守れたことや、父親に褒めてもらえたことで、満足感や充実感につながっていくことに気付くようにする。
展開 後半 20分	3 自分の特徴について考える。 ○自分はどんな特徴がありますか。 4 互いのよさを認め合う。 ○友達のよいところを書いて教えてあげよう。	・本が好き ・走るのが速い ・親切 ・思いやりがある ・〇〇さんは、優しい人です。困っているとき、声を掛けてくれて助かりました。 ・〇〇さんは、楽しい人です。クラスのみんなを笑わせてくれます。	・事前に自分の特徴についてアンケートをとっておき、自分自身を見つめる補助とする。 ☆隣の席の友達のよいところをタブレットPCのノートに3つ書く。タブレットを隣の席の友達と見せ合い、感想を交流する。 ☆全員のノートを電子黒板に写し、何枚か読み上げる。誰のことか分かったら発表し、答えた児童と書いた児童に拍手をする。 (評) 自分のよさについて考えている。(発言・ノート)
終末 3分	5 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習の振り返りを書きましょう。	・隣の友達に自分のよいところを教えてもらえて、嬉しかった。 ・自分にもよいところがあることが分かって、自信がついた。	・互いのよさについて、友達と伝え合った感想を書くことで、自分自身の長所を自覚し、互いに認め合うよさについて感じ方や考え方を深めるようにする。 ・それぞれの特徴に気付き、大切に伸ばしていこうとする思いを膨らませたい。